要望とお尋ね

２０１７年7月７日

三田市市民生活部 市民文化室 文化スポーツ課
課長・横溝朋之様

三田市の図書館を考える市民の会
代表世話人・小林純生

いつもお世話になっております。

４月１日から実施された神戸市立図書館との相互貸借について、運営のあり方に疑問が生じています。具体的事実として、さる６月１７日に三田市立図書館宛、「神戸市立中央図書館蔵書の貸出期間」について、メールで問い合わせをいたしました。当方の不手際でメールが届いていないとのことでしたが、貴課担当者が６月２２日に、当会のメールを図書館へ転送してくださり、「内容確認後、図書館から回答させていただきます。」との連絡をいただきました。そして、７月１日に図書館からメール添付で別添の回答をいただきました。

図書館からのメールは平岡館長名になっていましたので、回答は公式のものと認識いたしました。三田市の図書館を考える市民の会として、内容を子細に検討した結果、「相互貸借」の問題だけでなく、図書館の「運営体制」そのものに大きな問題があると認識しました。そこで改めて、図書館に要望を出すことにし、本日メール添付で送付いたしました。合わせて貴課にも幾つかお願いをしたいと思います。「６月２２日付の図書館の回答」（実際に受け取ったのは７月１日です）と、「７月７日付の三田市の図書館を考える市民の会からの要望」の二つの文書を添付いたします。貴課のご見解をお聞かせください。

第一点。別添の当会の文書で詳しく述べている要望について、貴課からも図書館へ実施を指導していただきたく思います。

第二点。図書館運営の「不備」と「職員の質の低さ」について貴課の見解をお示しください。図書館の管理運営については、貴課職員が定期的にモニタリング調査を行っています。その評価は常に「良い経営」「適正以上」という評価だったと認識しています。ほとんどの場合、２名の課員による聞き取り調査と聞いていますが、上記のような高い評価にもかかわらず、図書館の現状は館長が「不備」と認めざるを得ない状況にあります。市によるモニタリング調査のあり方とその評価に強い疑問を抱かざるを得ません。

なお、３館・室間の連絡便の運航についても、見解に変更はないか改めてお尋ねします。

以上